



同窓会だより



第12期第1組 企画事務

市町村アカデミー研修「企画事務第12期第1組」同窓会（会長 福山市 横関能照さん）第20回同窓会を岐阜県岐阜市で開催しました。

平成30年7月14日（土）午後3時、岐阜市、岐阜駅前集合、ホテル イルグレド岐阜にチェックイン。全員がそろったところで、幹事世話人の若山和明さん（岐阜市）の案内により、さっそく、「ぎふメディアコスモス」を見学、図書館を核として国際交流・リサイクルセンターなどとともに民間のカフェ・コンビニなども配置された複合施設でした。中でも核となる図書館は市民利用の立場でさまざまな工夫がされ、図書の配架はすべて人の目線に合わせてあったり、照明は自然光を取り入れた優しい配慮がなされていました。この図書館のすばらしさは、なんといっても、職員・司書のみなさんの丁寧で親切な対応が実に自然で心地よい気分させてくれることでした。すでに名物館長となられた吉成信夫中央図書館館長はじめ、副館長の川合裕子さんには終始、私たちに付き添って館内を案内いただき大変お世話になりました。

続いて、バスで移動となり長良橋で下車、昔ながらの風情のある川原町を散策、歴史・文化を大切にされている岐阜市さんの取り組みの原点を見せていただきました。その後、鶺鴒遊覧船観覧の予定でしたが、長良川が台風と大雨による災害にあい残念ながら乗船できませんでした。しかし、そこは幹事の若山さんのご配慮でホテル宴会会場から鶺鴒の風景を見せていただき、とても幻想的な風情を楽しませていただきました。

懇親会は午後6時からの宴会場「鵜匠の家 すぎやま」開催となりました。参加者は、若山和明さん（岐阜市）・同夫人尚美さん、斎藤 聡さん（湯梨浜町・旧東郷町）・同友人、横関能照さん（福山市）、米田秀夫さん（岡山市）、國方秀樹さん（さぬき市・旧志度町）、堀口美穂さん・同ご主人武寛さん（さぬき市・旧志度町）、前田一貴さん（笛吹市・旧境川村）・同夫人清子さん、永原武敏（豊中市）・妻睦子、山崎正史さん（鎌ヶ谷市）・同夫人、そして豊中市から大東幹彦さん、澤田真希さん、室谷卓也さんも参加してあいかわらずの多彩で楽しい集まりとなりました。残念ながら、アカデミー指導教授であった新潟大学経済学部の穴戸邦久教授はご欠席でした。懇親会は、岐阜市若山さんの司会進行により、同窓会会長の横関能照さん（福山市）の乾杯でスタート、それぞれの近況報告に続き、昨年開催した第19回湯梨浜町（幹事・斎藤聡さん）開催の様子をDVD投影・鑑賞しながら、わいわいと懇親を深め、おいしいお料理を満喫して大いに盛り上がりました。二次会は、



バスで岐阜駅前シダックスへ移動し、カラオケルームで「恒例じゃんけん大会」とともに、各市の郷土自慢のお土産などを紹介しながら明日への英気を養い、こんなエネルギーがどこから来るのか不思議なくらいでした。翌日は、タクシーに分乗して岐阜市歴史博物館前で下車、まずは信長公居館に案内していただきました。史跡スポットを自分でタブレットを操作しながらの体験を、今はやりのCGを使って、学芸員さんからの直接説明とともに体験することができました。その後は園内の岐阜市歴史博物館へ移動、特別展「粋な古伊万里展」を観覧したあと、来園者の休憩所・華松軒で「抹茶を一服」のごちそうに、静寂の中にこのおだやかさを取り戻すひとときとなりました。最後は、岐阜の名所・旧跡となっている岐阜大仏の見学をさせていただき、また若山さんのご紹介もあり直接ご住職から説明を受け、少し得した気分になりました。こうして岐阜市内の視察・観光とご当地グルメを堪能しました。

そして、20年の節目となる記念同窓会は、みなさんと、活気あふれる元気な同窓会となり、大変うれしく思うとともに、それにしてもよくも今日まで続けてこれたと、とても感慨深いものがありました。

また、その年その年の幹事役・世話役を引き受けていただいた同窓生、参加者のみなさんには心から感謝したいと思います。

次回はお互い健康で元気な再会となるよう、新たな同窓会として、当同窓会の「シドニー（志度に一）で逢いましょう」を合言葉にスタートした最初の地「志度町」、現在の「さぬき市」に戻り、國方秀樹さん（さぬき市・旧志度町）に第21回目をお願いすることにしました。

最後に、岐阜市の関係者のみなさんに、あらためて感謝の意を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

大阪府豊中市 永原 武敏